

ふれあい

Fukuseikai Hospital
Public relations magazine

Vol.60
2024年
新春号

福西会病院広報誌

ご自由にお持ち帰りください。

この1年も
皆さんが健康でありますように!

新年のご挨拶



福西会Information

検診啓発イベントが開催されます

[院外講座] 高齢者に多い脳神経外科疾患 ～主に頭部外傷と脳卒中について～
福岡マラソン2023に参加しました!

部署紹介

医師事務作業補助業務の紹介

栄養ニュース

鍋料理について

リハビリニュース

『脳トレ』記憶力向上のすすめ

ホームページ

QRコードでアクセスできます。

<https://fukuseikai-hp.com>



2024
令和 6 年

新年のご挨拶



病院長

山下 裕一

明けましておめでとうございます。今年もよろしく
お願い申し上げます。

昨年5月8日をもちまして新型コロナウイルス
(COVID-19:以下 新型コロナ)は感染法上の2類相当から
5類に変更になりました。2020年1月からまたたく間に
全国規模に感染が拡大し、3年4か月程の間にパンデ
ミックの大病は第8波に及びました。極めて多数の感染者
や死者がでる結果となりました。新型コロナのワクチン
や治療費として内服薬、注射薬が海外からとりわけ米国
から輸入され、徐々に治療体制が整うと同時に新型コロナ
の毒性は次第に弱まり、死者数は減少しました。しかし、
昨年5月以降では、報道で取り上げられることがなくな
りましたが、現在も新型コロナは感染力が強いままで
市中に存在し、入院が必要となる感染を引き起こして
います。皆様には来院される折には、感染防止にご協力
いただきますようお願い申し上げます。

新型コロナが5類になって以来、当院でも最高レベルに
保っていた感染対策は、徐々に緩めてきました。しかし、
今も新型コロナに感染し入院が必要となる方々がおられ
ます。そのため、当院では感染防止のための陰圧装置や
換気扇を有する入院病床を引き続き運営し、院内感染
を起こさないように配慮しております。今後も、入院中
の患者さんに院内感染が起こる可能性があります。
このような状況をご理解いただけますようお願い致します。

当院では、**発熱外来**は予約制ではありません。平日の
午前、午後の受付時間帯に来院してください。インフル
エンザや新型コロナが疑われる場合には、マスク着用で
3密を避ける配慮をお願い申し上げます。

ご家族の面会については、感染防止のために電話
予約を取っていただく必要があります。原則は2名以内
で10分間の面会となります。体調不良や濃厚接触者の
方々の面会は、院内感染予防のためにお断りしており
ますことをご理解いただきたいと思います。

医師の働き方改革が2024年4月より政府の働き方
改革関連法により実施されます。医師は労働者であり、
超過勤務時間等は厳重に管理される時代になります。
命を守る医療を継続するため病院は努力する必要が
ありますが、不要不急の時間外の受診や病状説明など
に対応の変化が起こると思われます。ご理解の程よろしく
お願い申し上げます。

医療DXという言葉を目にします。これは医療分野に
おけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を指します。
医療の現場でデジタル技術を活用することで、医療の
効率や質を向上させることを目的としています。オン
ライン診療、ビッグデータの活用などです。当院では、
すでにビッグデータを基にした大腸内視鏡検査診断
装置が計3台導入されています。これは内視鏡専門医師が
診断だけでなく、コンピューターが病変の見落とし
や悪性腫瘍の有無などサポートし診断を補助します。
4月からは整形外科でロボット手術装置を導入し、より
質の高い治療をめざします。

新型コロナの流行開始から4年が過ぎ、医療を取り
巻く環境も変化していますが、今後も福西会病院は人と
人との触れ合いを大切に致します。今年もどうぞよろ
しくお願い申し上げます。

明
け
ま
し
て
お
め
で
と
う
ご
ざ
い
ま
す
。

今
年
も
よ
ろ
し
く
お
願
い
申
し
上
げ
ま
す
。



副院長

篠原 徹雄

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2023年5月8日より
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上5類感染症
に位置付けられました。最近では感染者も減少しています。流行初期には
致死率5%という重症度の高い感染症でしたが、2021年からのワクチン
接種開始、そして2022年からのオミクロン株の拡大により、徐々に重症
度が低下しています。

それでは、新型コロナはインフルエンザと同程度の感染症になったと
言えるのでしょうか?またこのまま新型コロナは弱毒化していくと考
えて良いのでしょうか?5類感染症になっても新型コロナという感染症が
なくなるわけではありません。今後も流行は起こりますし、高齢者や基礎疾患
のある人は重症化することもあります。当院も今までの経験で学習したこ
とを踏まえ、引き続きCOVID-19の対応を行っていきたいと思っています。

地域救急医療を担う当院としましては、クラスター発生が救急医療の
一時縮小とならないよう、努めてまいります。

また働き方改革関連法に伴い2024年から医療現場の働き方改革も
始まります。地域医療の供給体制を維持するために当院も改革を推進
してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

最後に、今年は地域救急医療に邁進する年となるよう、改革していきたい
と存じます。



院長代行

田中 正利

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げ
ます。

わが国では、少子化の進行や平均寿命が延びたことで、高齢化が急速に
進行しています。フレイル(老衰)や疾病による要支援・要介護の期間が短く、
健康で活動的に暮らせる健康寿命を延ばすことが重要で、それには健康
診断が大きく寄与します。当院は、人間ドック、がん検診、精密検査を行う
二次検診、特定健診などの健康診断を診療の柱の1つとしています。
新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、健康診断の受診者が減少
したといわれています。昨年、新規の新型コロナウイルス感染者数は減少
傾向を示し、同感染症は5類に位置づけられました。本年はより多くの
受診者の方々を受け入れ、健康寿命の延伸に貢献していきます。

当院は2年前に病院機能評価を受審し、5回目の認定更新を受けること
ができました。病院機能評価を受ける第一の目的は、第三者の立場から
評価を受けることで、病院の長所、短所を明らかにし、そして長所を伸ばし、
短所を改善し、医療の質の向上を図ることです。前回の受審では、多くの
項目が高い評価を受けましたが、その一方で改善を要する課題も指摘され
ました。その残された課題については、受審後も克服に向け継続的に活動
を行っております。医療の質の向上は、当院の医療理念でもある「信頼される
医療」につながると 생각합니다。

これからも患者様やご家族、そして地域の皆様から信頼される病院で
あるために、日々精進していく所存です。

本年も引き続きご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

イベント 検診啓発イベントが開催されます

来たる1月20日(土)14時より、「ららぽーと福岡」にて福岡市のがん検診受診率向上を目的としたイベント(健康パーク～自分の身体の声を聞こう～)が開催されます。イベント内のセミナーで、当院の大腸・肛門外科 別府 理智子医師が登壇し講演を行います。セミナー後には、タレントの中島浩二さんをお迎えし、健康診断やがん検診についてのトークショーも予定されています。ご興味のある方は、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

[テーマ] 健康パーク～自分の身体の声を聞こう～

- ◎日 時／令和6年1月20日(土)14時～
◎場 所／ららぽーと福岡 メディアパーク内特設ステージ
◎内 容／<第1部>
便秘や血便、そして大腸がんの正しい知識と
がん検診受診の必要性を知るためのセミナー
14時00分～(45分間)
演者:福西会病院 大腸・肛門外科 別府 理智子医師
<第2部>
健康診断やがん検診を受けたくないトークショー(ゲスト:中島浩二さん)
15時00分～(45分間)
◎対 象／主に福岡市民 120名(先着順)
◎参加費／無料



昨年の様子

院外講座

「高齢者に多い脳神経外科疾患」 ～主に頭部外傷と脳卒中について～

◎令和5年11月14日(火) ◎早良公民館にて
講師:脳神経外科 原田 篤邦

令和5年11月14日(火)、早良公民館のシルバー教室にて健康講座を開催いたしました。多数の方にご参加いただき、ありがとうございました。

今回は、脳神経外科 原田 篤邦医師より、「高齢者に多い脳神経外科疾患」～主に頭部外傷と脳卒中について～というテーマで、お話をいたしました。

高齢になると筋力やバランス感覚の低下など様々な理由で転倒の危険性が高くなります。これから寒い時期となり体の



動きも鈍くなってきます。日頃から散歩をして筋力をつけたり、家庭内での環境を整えたりと転倒防止に努めることが大切です。頭部外傷をうけたら早めに受診をして、適切な診断と治療をうけていただきたいということでした。

当院では、病気に関することや疾病の予防についての講演など、地域の皆様の健康増進に貢献できるよう活動を行っています。お気軽に地域医療連携室までご相談ください。

福岡マラソン2023に参加しました！

僕は今回が人生で初めてのフルマラソンでしたが、楽しみながら無事に完走することができました。

途中で何度も苦しい場面がありましたが、常に沿道で応援してくださる方がいて、励ましてもらえました。

そのおかげで目標にしていたタイムより早く完走でき、応援の力というものを実感しました。



放射線技術科
にしかこい たくみ
西椋 拓海



今回のマラソンには当院から8名参加しました。

部署紹介

医師事務作業補助業務の紹介

病院にとってなくてはならない 緑の下の力持ち的な 大切な部門です。

現在、当院では14名で業務を行っております。

1.医師事務作業補助者って何？

医師の業務負担軽減のために、診療の中の事務的な部分を担う職種です。院内では「ドクターアシスタント」と呼ばれています。2008年の診療報酬改定で「医師事務作業補助加算」が新設されました。当院においてもその年に九州厚生局へ届出を行い、医師事務作業補助者を配置しています。

2.どんなことをしているの？

～外来～

外来診療補助業務
電子カルテ代行入力(カルテ記載、各種検査のオーダー入力、診察予約など)
診療情報提供書作成補助

◆活躍場所:①外来の診察室、問診コーナー ②内視鏡センター
③透析室 ④救急外来 ⑤在宅診療科

◆主な仕事:電子カルテへの入力作業、同意書等必要書類の出力を中心とした医師の診察の補助です。

～病棟～

電子カルテ代行入力(カルテ記載、各種検査のオーダー入力、処方代行入力など)
診療情報提供書作成補助
退院サマリー作成補助
外科手術症例登録(NCD)

◆活躍場所:各階病棟(3～6階)
◆主な仕事:電子カルテへの入力作業がメインです。入退院時の検査オーダーや退院時支援として必要な情報提供書の準備を行っています。



～書類作成補助～

各種診断書、入院証明書、傷病手当金支給申請書、介護保険主治医意見書、特定疾患臨床調査個人票、自賠責診断書、労災関係書類など(当院では受付から完成まで約1～2週間の期間をいただいております)

私達が事務作業を代行することで、医師の負担を軽減し、ゆとりを持って患者さんと向き合えるように努めています。その他、診断書作成補助や診療に関するデータ集計なども行っています。

職員 インタビュー

まえだ ひな
前田 陽菜 さん

職歴 入職2年目
趣味 ピアノ
色々なジャンルの曲が弾けます。

仕事に対して心がけていることややりがい

日々の業務の中で必要とされる知識が多く、もっと勉強して知識の向上に努めたいと思います。また、医師が診療を円滑に行えるようにこれからも頑張ります。



もっと勉強を重ねて
スムーズな
診療を支えています。

きたむら まひろ
北村 真弥 さん

職歴 入職2年目
趣味 猫の遊び相手
いつも4匹の遊び相手をしています。

仕事に対して心がけていることややりがい

慣れない事ばかりで、周りの人に助けて頂きながら日々勉強の毎日です。これからも医師の負担軽減となる業務ができるよう、色々なことに挑戦しスキルアップに努めます。



あっという間の
2年目。
さらなるスキルアップを
目指します。

栄養ニュース

第50号

栄養管理科



新年を迎え、いよいよ本格的な冬の季節がやってきました。今回のテーマは「鍋料理について」です。鍋料理の歴史は古く、縄文時代から存在したと推測されていますが、食卓で囲む料理として流行したのは江戸時代と言われています。また、明治時代にすき焼きが登場したことで、さらに多くの人に食べられるようになりました。調理がしやすく体を温めてくれる鍋料理は、寒い冬にぴったり。大勢で囲んで食べるイメージがありますが、実は一人暮らしの方にもおすすめです。そこで今回は、鍋料理をより健康的に取り入れるためのコツをご紹介します。



たんぱく質を2種類以上入れましょう

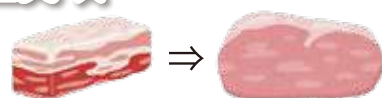
三大栄養素の1つでもあるたんぱく質は、筋肉や臓器などを作る重要な働きを持つ栄養素です。ぜひ2種類以上鍋料理に取り入れましょう。

おすすめ食材 ◎鶏団子 ◎豚肉 ◎鶏肉 ◎白身魚 ◎魚介類 ◎豆腐 ◎豆乳



★ 脂質を抑える工夫 ★

豚肉はバラ肉よりもロース肉、鶏肉はモモ肉よりもむね肉にすることで、より脂質を抑えることができます。



緑黄色野菜を取り入れましょう

緑黄色野菜とは、厚生労働省により「原則として可食部100g当たりカロテン含量が600μg以上の野菜」と定められています。カロテンには、目や粘膜の健康維持・抗酸化作用・免疫力を高める作用があります。鍋の具材は、白菜やキャベツなどがなじみがありますが、緑黄色野菜も積極的に取り入れ、野菜の1日の目標摂取量350gを目指しましょう。

おすすめ食材 ◎水菜 ◎春菊 ◎ほうれん草 ◎にんじん ◎小松菜 ◎ニラ



きのこ類を取り入れましょう

きのこ類はビタミンやミネラル、食物繊維が豊富で低カロリーなので、おすすめ食材です。

おすすめ食材 ◎しいたけ ◎まいたけ ◎えのき ◎きくらげ ◎しめじ ◎エリンギ



さらに、鍋料理の注意点として、次のことに気をつけましょう。

1. 塩分を摂りすぎないようにしましょう

鍋は、油を使わず野菜をたくさん食べることのできる料理ですが、塩分に関しては注意が必要です。1日の摂取量は、食塩相当量として18歳以上の男性で7.5g未満、同じく女性で6.5g未満と設定されています（日本人の食事摂取基準2020年版）。市販の鍋スープよりも、手作りする方が塩分を抑えることができますが、手作りのスープであっても飲みすぎには注意しましょう。

2. 食べ過ぎに気をつけましょう

鍋料理はついつい食べ過ぎてしまいがちな為、あらかじめ量を決めてから食べるようにしましょう。

これからまだまだ寒くなりますが、これらのポイントを意識して、より栄養価の高くおいしい鍋料理を食生活に取り入れ、寒い冬を乗り切りましょう！

知るとうれしい

リハビリニュース

★リハビリテーション科★

いつでも
どこでも
レッツ
チャレンジ♪



今回の
テーマは

『脳トレ』記憶力向上のすすめ

寒さが厳しい時期となってまいりました。いかがお過ごしでしょうか。今回から『リハビリニュース』のコーナーを担当することになりました、作業療法士の石見と申します。作業療法士ならではの視点で、日常のちょっとした健康アドバイスをお伝えしていけたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



さて、今回は「脳トレ」をテーマにお話をしていきます。高齢化の進展とともに認知症患者数も増加しています。2025年には65歳以上の認知症患者は約675万人と、5人に1人程度が認知症になると予測されています。*

認知症の症状には色々ありますが、「物忘れ」がイメージとしてあると思います。物忘れ予防には脳を活性化させることが大事になります。早めに取り組んでいきましょう。

まずは、物忘れ予防のための記憶力トレーニングの紹介です。記憶は視覚情報より聴覚情報の方が脳に定着しやすいそうで、高齢者になって耳が遠くなると、記憶力も同時に下がってってしまうのはそのためではないとも言われています。

聴覚を刺激するためには、「声を出す」ということが重要になります。普段、いろんな人と何気ない会話をしておしゃべりを楽しむことも脳トレの一つですが、意識的に声を出して聴覚を刺激し、脳を活性化していきましょう。

その良い方法が『音読』です。

日常生活の中では、本や新聞は文章を目で追って、黙って読んでいると思います。「脳トレ」を意識するのであれば、あえて声に出して読んでみましょう。

※出典：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業）



1日15分の音読（声に出して読む）が効果的です。
ぜひお試しください。

幅広い
時間で
受診可能午前・午後の
診療担当医のご案内

詳しくはホームページで検索

福西会病院

検索



専門外来も午後に受診できます

要ご予約

アレルギー外来・ペインクリニック

LINE公式アカウントを
開設いたしました福西会病院からの各種ご案内等を中心に
お届けいたしますので、ぜひお友達登録をお願いいたします。アクセスは
こちらからYouTubeチャンネルを
開設いたしました

楽しくてためになる動画を追加していきます。ぜひチャンネル登録をお願いいたします。

アクセスは
こちらから

交通アクセス

公共交通機関

地下鉄七隈線 野芥駅にて下車(2番出口すぐ)

西鉄バス 野芥駅前にて下車(降りてすぐ)

都市高速から

野芥ランプから 【内回り】福岡高速5号線・野芥ランプより、
外環状線を直進「野芥口」交差点を越え側道へ…約3分【外回り】福岡高速5号線・野芥ランプより
外環状線を直進「野芥口」交差点右折……………約1分

福西会病院 パーキングマップ

P 福西会病院の駐車場は周辺に第1、第2、第5があります。
※地下駐車場は、廃止となりました。

医療理念

誠実で信頼される医療

基本方針

1. 救急病院として地域社会・地域医療に貢献します
2. 患者さんと共に安全・安心なチーム医療を行います
3. 積極的な医療・介護連携を目指します
4. 医療人として常に自己研鑽をします

患者さんの権利

1. 個人としての人権が尊重される権利
2. 質の高い医療を公平に受ける権利
3. 真実を知る権利、または、真実を知らされない権利
4. 病状や医療内容について、十分に説明を受ける権利
5. 医療行為を、自分の意思で選択する権利
(セカンドオピニオンを受ける権利)
ただし、医学的に不適切な医療を求める権利はありません。
6. 医療情報の開示を求める権利
7. 個人情報保護される権利

患者さんの責務

1. ご自身の状態やその変化など正確な情報を
医療従事者へ報告する責務
2. 治療に必要な医療上の指示を守る責務
3. 病院の規則を守り、快適な医療環境を維持する責務
 - 禁酒、禁煙
 - 他の患者さんへの迷惑行為の禁止
 - 職員への暴言・暴力・セクハラ・業務妨害などの禁止
4. 自己負担金を支払う責務